

# 坂東市議会だより

2026.2  
No.84

city council public information BANDO

発行 坂東市議会  
編集 議会だより編集特別委員会 〒306-0692 茨城県坂東市岩井4365番地  
TEL(代表) 0297-35-2121/0280-88-0111 URL <https://www.city.bando.lg.jp>



ハイウェイスタンプ  
坂東PA (外回り)



## 令和7年 12月定例会議

- 2~3 議案説明・審議結果
- 3 委員会審査報告
- 4~7 一般質問
- 7 委員会視察研修報告  
行政視察受け入れ
- 8 坂東市議会議員が逮捕・  
起訴されたことについて  
議会日誌・編集後記

## 1/31 首都圏中央連絡自動車道 坂東パーキングエリア外回りが完成！！

1/31首都圏中央連絡自動車道 坂東パーキングエリア外回りが  
完成し、同日完成式典が行われました。



議会生中継・録画配信  
インターネット配信中



一般質問の質問者ごとの映像  
がご覧いただけるコードを掲載  
しました。(P4-7)



# 令和7年 坂東市議会 12月定例会議

12月3日から12月11日まで

## 議案説明・審議結果

12月定例会議では、12月3日（第13回会議）に条例の改正、補正予算など8議案、議員提出議案1件が提出され次の表のとおり決まりました。

番号	件名	内容	付託委員会	結果 (賛成:反対)
議案第71号	坂東市望ましい学校の在り方審議会条例	市内小中学校の将来を展望した教育環境の充実を図るため、必要な事項について調査及び審議を行う附属機関として、新たに審議会を設置する条例を制定するものです。	教育民生	原案可決
議案第72号	坂東市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部改正に伴い、仕事と育児の両立支援制度に係る周知と意向確認を行い、子の年齢に応じた柔軟な働き方を職員が実現できるよう、条例の一部を改正するものです。	—	原案可決
議案第73号	坂東市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、部分休業制度の拡充を行うため、条例の一部を改正するものです。	—	原案可決
議案第74号	坂東市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、乳幼児健康診断等の内容が、利用乳幼児に対する健康診断の全部又は一部に相当すると認められるときは、当該健康診断の全部又は一部を行わないことができるよう、改正するものです。	教育民生	原案可決
議案第75号	児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	児童福祉法等の改正に伴い、地域限定保育士に関する規定を新たに追加するなど所要の改正をするものです。	—	原案可決
議案第76号	坂東市個人番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例	地方公共団体の基幹業務システムの統一化・標準化に伴う国からの通知に基づき、市の住民基本台帳に登録されていない者の登録・管理を行う「住登外者宛名番号管理機能」を独自利用事務として定めるものです。	—	原案可決
議案第77号	令和7年度坂東市一般会計補正予算（第6号）	戸籍住民基本台帳事務に要する経費、屋内体育施設空調設備に要する経費等の追加及び農業振興に要する経費の減額により、歳入歳出それぞれ1億8130万5千円を減額するものです。	総務	原案可決
議案第78号	令和7年度坂東市介護保険特別会計補正予算（第3号）	介護認定調査等に要する経費の追加により、歳入歳出それぞれ50万5千円を追加するものです。	—	原案可決
議員提出議案第4号	市議会議員の職員に対する不当要求行為等に関する調査特別委員会の設置について	市議会議員の職員に対する不当要求行為等に関することについて、地方自治法第100条に基づく調査特別委員会を設置するものです。	—	原案可決 (12:6)



番 号	件 名	内 容	付託委員会	結 果 (賛成:反対)
令和7年 請願第1号	法務局証明サービスセンター に関する請願	—	総 務	継続審査 (17:1)
令和7年 請願第2号	坂東市個人情報保護体制の整備 を求める請願	—	総 務	不採択 (17:1)
令和7年 陳情第4号	法務局証明サービスセンター の存続を求める陳情（継続審 査）	—	総 務	継続審査 (17:1)

### 賛否の分かれた案件の表決結果

	議長																		結 果		
	滝本 可南	小野 剛	中村 善行	名越 健寿	張替 進一	古谷 司	倉持 欣也	渡辺 利男	風見 正一	青木 浩美	青木 和之	染谷 栄	後藤 治男	石山 実	眞喜志 修	桜井 広美	滝本 和男	風見 好文		藤野 稔	林 順藏
議員提出議案第4号	○	○	×	×	○	×	○	—	○	○	○	×	○	—	○	○	×	○	×	○	原案可決
令和7年請願第1号	○	○	○	○	○	○	○	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	継続審査
令和7年請願第2号	○	○	○	○	○	○	○	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	不採択
令和7年陳情第4号	○	○	○	○	○	○	○	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	継続審査

「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席

議長は、採決に加わりません。（ただし、賛否同数の場合は、議長により決することになります。）

\*請願第1号・陳情第4号については「継続審査」、請願第2号については「不採択」と決することに対する表決結果です。

## 委員会審査報告

総務常任委員会、教育民生常任委員会に付託された議案及び  
請願・陳情の審査を行いました。

### 総務常任委員会

#### 審査案件

- 議案第77号 令和7年度坂東市一般会計補正予算（第6号） 【全会一致により可決すべきものと決定】
- 令和7年請願第1号 法務局証明サービスセンターに関する請願 【全会一致により継続審査とすべきものと決定】
- 令和7年請願第2号 坂東市個人情報保護体制の整備を求める請願 【全会一致により不採択とすべきものと決定】
- 令和7年陳情第4号 法務局証明サービスセンターの存続を求める陳情（継続審査）  
【全会一致により継続審査とすべきものと決定】

### 教育民生常任委員会

#### 審査案件

- 議案第71号 坂東市望ましい学校の在り方審議会条例 【全会一致により可決すべきものと決定】
- 議案第74号 坂東市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例  
【全会一致により可決すべきものと決定】



録画配信

たきもと かな  
**滝本 可南** 議員

**児童の登下校時における安心・安全について**

**問** 児童が安心して登下校できる環境づくりについて、市の対策を伺う。

**答** 通学路に係る安全対策として関係機関と連携して合同点検を実施しており、危険箇所の対策は概ね完了しています。

**問** 登下校時における保護者の立哨当番の負担軽減と地域の見守り体制の構築のためスクールガード、スクールガード・リーダー制度の導入について市の考えを伺う。

**答** 警察と連携し防犯効果が高く、組織的に運用できるものの、ボランティア不足や責任の重さが課題と考

**Q スクールガード、スクールガード・リーダー制度の導入について市の考えを伺う。**

**A** 学校と地域の意見を踏まえつつ、保護者の負担軽減のため、交通安全ボランティアの在り方を今後も検討していきます。

えています。  
交通安全母の会などの活動の負担が増加していることを踏まえ、保護者の負担軽減を図るため、登下校における交通安全ボランティアの在り方について今後も検討していきます。

**問** ヘルメットの見直しや、黄色い帽子との選択制についての市の考えを伺う。

**答** 通学時や災害時の安全性を第一に考え、黄色い帽子よりヘルメットの着用を推奨しております。ただし、熱中症のおそれや頸椎への負担等を勘案し、ヘルメットの着用を強制せず、個々の事情に柔軟に対応することとしています。ヘルメットも最新の軽量化された製品と比較し、経費等を検討したいと考えています。

**子どもや若者の意見や活動を活かすまちづくりについて**

**問** 市における子どもや若者の意見をまちづくりに反映する取り組みの現状について伺う。

**答** 中高生で構成されている「むぎの会」のボランティア活動、坂東市民協働大学「ミライ楽考」、女性人材バンクが取組みとしてあります。また、現在進めている総合計画の第3期戦略プラン策定において、子どもや若者の意見を多く取り入れるよう取り組んでいます。

**問** 市として今後、子どもや若者が主体的にまちづくりに関わられるような仕組みを導入・検討していく考えはあるか伺う。

**答** 活動支援の制度として「坂東市市民協働によるまちづくり推進事業補助金」があります。また、中高生世代の活動に関しては、どういった枠組みで継続性を持った取組みにつながるのかを注視しつつ、先進的な事例を参考にし、検討していきたいと考えています。

**その他の質問**

・給食環境と教育環境の基盤整備について



録画配信

おの たけし  
**小野 剛** 議員

**防犯カメラの設置状況及び今後の防犯対策について**

**問** 現在の市内における防犯カメラの設置状況について伺う。

**答** 交通防災課が令和6年度末時点で78台を市内各所に設置しています。また、生活環境課が11台、小中学校や公共施設等に各所管課が184台を設置しています。市役所以外では、岩井モール商店街連合会が10台設置していると聞いています。

**Q 防犯カメラの設置による防犯対策について市の考えを伺う。**

**A** 防犯カメラの設置による環境整備は大変重要であると認識していますので、引き続き必要な場所に設置していきたいと考えています。

**問** 市設置の防犯目的のカメラの年間設置台数の実績は何台か伺う。

**答** 年間設置台数の直近3年間の実績は、令和4年度に5台、令和5年度に4台、令和6年度に5台、今年度は4台の設置を予定しています。

**問** 設置場所の選定はどのように決めているか伺う。

**答** 行政区からの要望、また境界警察署と相談の上、設置場所を決めています。

**問** 防犯カメラ設置のための補助金があるか伺う。

**答** 市民が設置する個人の防犯カメラに対する補助金はありません。今後、近隣自治体の状況を踏まえ、補助事業を検討していきたいと考

えています。

**問** 防犯カメラの設置には高い犯罪抑止効果が期待できると考えるが、現時点で最終的な設置台数の目標及び今後の防犯対策について、どのように考えているか伺う。

**答** 最終的な設置台数の目標は定めていませんが、防犯カメラは、犯罪に対して高い抑止効果が期待できることや、事件・事故の有力な証拠となり、早期解決につながるなど住民の安全安心のためにはなくてはならないものですので、引き続き必要な場所に設置していきたいと考えています。

また、多種多様な犯罪が増え、手口も巧妙化していますので、今後の防犯対策として、防犯カメラの設置による環境整備は大変重要であると認識しています。



録画配信

なかむら よしゆき  
**中村 善行** 議員

### 防災・減災の取組みについて

**問** 本市における防災士の人数と、登録者の属性について伺う。

**答** 令和7年9月末時点の登録者は50名です。登録者の属性は、男性が39名、女性が11名で、年齢層は20代から70代です。

**問** 本市に一人でも多くの防災士を誕生させるためには、資格取得費用の負担を軽くする必要があると考えるが、資格取得のための助成金について伺う。

**答** 資格の補助制度についての調査研究を行っているところです。

**問** 中学生の防災士資格取得率全国1位を目指すため中高生向け防

**Q** 防災士の資格取得費用の補助制度をつくる予定があるか伺う。

**A** 補助制度についての調査研究を行っているところです。

災士養成研修について伺う。

**答** 茨城県社会福祉協議会主催で中高生向け防災士養成研修が開かれており、令和7年度の定員は60名で資格取得費用は無料です。

### 個別避難計画について

**問** 本市の要支援者数、作成数、作成率について伺う。

**答** 本市の要支援者数は1676名です。計画書作成済者は281名で、作成率は16.77%です。

### 外国人を含む地域防災体制の強化について

**問** 自治会や企業と連携して、外国人が地域防災訓練に参加しやすくするための取組みはあるか伺う。

**答** 現在、自治会や企業と連携した外国人向けの取組みはありませんが、災害発生時の外国人対応に関する研修に市職員が参加しており、外国人が防災訓練に参加しやすくするための取組みを調査研究していきたいと考えています。

### 防災DXについて

**問** 本市が現在取り組んでいる防災DXの内容と到達点について伺う。

**答** 民間企業との災害時応援協定に基づき、避難所の開設状況・避難情報など防災緊急情報のプッシュ通知や避難所の混雑状況の可視化などのDX化を行っています。

防災DXの到達点としては、デジタル技術を最大限活用して、より効果的かつ効率的な方法で災害に強いまちづくりを進めていくと考えています。

**問** 防災DX官民共創協議会へ加入する意義が非常に大きいと考えるが市の見解を伺う。

**答** 防災DX化の課題解決等の調査研究を行い、防災DX官民共創協議会への加入の必要性について今後検討していきたいと考えています。

### その他の質問

・多文化共生の推進について



録画配信

さくらい ひろみ  
**桜井 広美** 議員

### 物価高対策について

**問** 物価高、特に食料品高が毎日の生活に直結する大きな要素だが、ここに手厚い対策が必要と考える。どのような支援を考えるか伺う。

**答** 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の拡充に伴い、米などの食料品の物価高騰による負担を軽減するためのプレミアム商品券、電子クーポン、地域ポイント、お米券、食料品の現物給付などの支援が新たに必須事業として追加されています。交付金の推奨事業メニューの趣旨に基づき、事業を検討していきます。

**問** 支援の手段の一つとして、現在開かれている臨時国会で

**Q** 物価高対策について、即効性、事務コストの点で、以前より長期的な水道料金の減免を提案するが、どのようなか伺う。

**A** 近隣自治体等の動向も踏まえて、どのような事業が本市にとって効果的支援になるのか検討してまいります。

の補正予算案に含まれている「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」の活用を考えるが、市民一人一人が恩恵を受けられる体制をいち早く執行できるように今から準備を整えることについて、どのように考えるか伺う。

**答** 国から交付金の拡充を予定する旨の連絡を受け、11月19日から庁内各課へ交付金を活用する事業の提案募集を開始し、活用について全庁的に検討を進めているところです。

### 食品ロス対策について

**問** 本市において食品ロス対策をされているか。されていたらその内容を伺う。

**答** 広報などを通じて家庭や飲食店で取り組むことができる食品ロス対策について周知、啓発を行っています。

**問** 今後、食品ロス対策をどのようにするか伺う。

**答** 県実施の「いばらきフードロス削減プロジェクト」「いばらきフードドライブキャンペーン」などの活動、食品の期限表示の理解促進などについて、ホームページやSNSを活用し、さらなる周知、啓発に取り組んでいきたいと考えています。

**問** 本市においてフードバンクのようなものを設置できるか伺う。

**答** 食品を提供する企業、食品の受入れ場所の協力やこども食堂等への供給を担う団体など、ネットワークの構築が必要となります。先進事例や民間活力の導入も視野に入れたら、調査研究していきます。



くらもち きんや  
**倉持 欣也**



録画配信  
議員

### フレイル予防の推進について

**問** 食生活を通じたフレイル予防の強化についてはどのようなか伺う。

**答** 栄養改善配食サービスとして、65歳以上の高齢者の方や高齢者のみ世帯の方を対象に、利用条件の範囲内で配食サービスを行っています。また、低栄養状態を防ぐことの大切さを啓発する目的で開催している栄養教室や、食生活改善推進協議会における地区伝達活動を通

**Q** フレイル予防をいかに強力的に継続的に維持し、定着させていくのか伺う。

**A** 栄養・口腔機能、身体活動、社会参加の三つの柱を軸として、地域の実情に応じた柔軟な事業運営を行っていくことが重要であると考えています。

じて、フレイル予防をテーマとした講話を実施しています。

**問** 高齢者の継続的な運動習慣定着の施策はあるのか伺う。

**答** 高齢者が集まるサロン事業等と連携し、地域の公民館等において指導士を配置した体操教室の実施や、シニアクラブ等が行っている各種スポーツ活動の支援を行っています。また、市内の3課が連携した高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業を推進し、社会福祉協議会の協力を得ながら体操体験のほか、医療専門職によるフレイル予防と運動に関する講話や、足指力測定、口腔機能の講話などを実施して

います。そのほか、家庭でも実践できる下肢筋力低下の予防となる運動の指導なども行い、日常生活の中で継続を支える仕組みを整えています。

**問** 孤立を防ぎ、社会性を維持するための市の取組みはどのようなか伺う。

**答** 趣味や特技など共有できる活動や地域で開催されている交流会、気軽に集まれるサロン活動を支援することで、孤立感の軽減につながる取組みを行っています。また、新たな取組みとして、地域コミュニティの場としての機会も兼ね備えた買物支援事業（移動スーパー）を、令和7年11月より開始しました。



まきし おさむ  
**眞喜志 修**



録画配信  
議員

### カスタマーハラスメント対策について

**問** カスタマーハラスメントに該当し得る主な事例における本市としての対策について伺う。

**答** 坂東市職員のハラスメント防止等に関する規程、坂東市不当要求行為等対策要綱及び不当要求行為等対応マニュアルに基づき対応しています。例えば、カスタマーハラスメントに該当し得る長時間居座りの場合は、職務に影響があるため断り、退去を促し、応じない場合は上司に報告の上、

**Q** カスタマーハラスメントの深刻化に伴う心身の健康被害から本市の職員を守るための取組みについて伺う。

**A** ストレスチェック、外部講師によるメンタルヘルスセミナーなどを実施しています。

警察に通報し対応を委ねるなど対処をしています。

**問** カスタマーハラスメントの深刻化に伴う心身の健康被害から本市の職員を守るための取組みについて伺う。

**答** 心理的負担を自己認識するストレスチェック及び結果に基づく医師の面接指導、外部講師によるメンタルヘルスセミナーなどを実施しています。また、来年度に外部講師によるカスタマーハラスメントの研修を計画しています。

**答** 本市では市民後見人の養成研修は実施していない状況ですが、成年後見制度の利用状況は、令和5年度で77名となっています。市民後見人については、高齢者人口の増加に伴う利用増加が見込まれるため、これらに対応するための人材の確保、育成として研修の実施や組織体制の整備に関して調査研究を行っていきます。

### 市民後見人(\*)制度について

**問** 本市における「市民後見人制度」の利用者数と今後の見通しについて伺う。

(\*) 弁護士や司法書士、社会福祉士などの資格をもたない親族以外の市民による成年後見人等のこと。地域の自治体や中核機関が養成講座などの研修を開催し、知識や技術、姿勢などを習得する必要がある。



ふじの  
**藤野**  
みのる  
**稔**  
議員



録画配信  
議員

### 物価高対策について

**問** 現在の物価高について市の見解を伺う。

**答** 電気、ガス及び燃料等のエネルギー料金の上昇、食料品や日用品等の価格上昇が依然として継続しており、皆様が経済的な影響を受けている状況だと認識しています。

**問** 対策として考えている施策はあるのか伺う。農林水産省は「お米券」を進めているがどう考えているのか、他に考

### Q お米券について、どのように考えているのか伺う。

**A** 地域の実情や要望、意見なども踏まえた上で、今後詳細について決めていきたいと考えています。

えている施策はどうか伺う。

**答** 国から物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の拡充を予定する旨の連絡を受け、11月19日から市内各課へ交付金を活用する事業の提案募集を開始し、活用について全庁的に検討を進めているところです。お米券については、地域の実情や要望、意見なども踏まえた上で、今後詳細について決めていきたいと考えています。

### 米政策について

**問** 石破政権では、米の増産が言われたが、現政権では引き続き減反が言われている。米の不足が明らかだったにもかかわらず、減反を進めるということで農家は戸惑っている。どう考

えているか伺う。

**答** 国の方針を踏まえつつ、本市の実情に即した対応や説明を丁寧に進めていく必要があると考えています。

**問** 市として、米の増産についてどのように考えているか伺う。

**答** 市単独での生産量の指示は難しいため、国や県と連携し、示される生産数量の目安や補助制度に基づき、生産者の経営が安定するよう支援をしていきます。

### その他の質問

・道路の管理について

## 委員会視察研修報告

### 議会運営委員会研修報告

期 日 令和7年11月11日（火）～12日（水）  
場 所 福島県伊達市  
内 容 議会改革の取組みについて



## 行政視察受け入れ



坂東市議会では、本市の取組みを全国に知っていただくとともに、まちづくりに関する情報交換を行うために、他市町村議会の行政視察を積極的に受け入れています。

最近の受け入れ状況をお知らせします。

### 群馬県大泉町議会（総務文教常任委員会）

期 日 令和7年12月17日（水）  
内 容 坂東市訪問型家庭教育支援事業について

## 坂東市議会議員が逮捕・起訴されたことについて

本市議会の石山 実 議員が、「ストーカー規制法違反」と「器物損壊」の容疑で1月15日に逮捕、2月4日に起訴されました。

容疑内容が事実であれば、議会として誠に残念なことであり、ストーカー等の被害に遭われた方に対して心からお詫びを申し上げるとともに、市民の皆様に対しましても、坂東市の名誉と信頼が損なわれたことにつきまして、深くお詫び申し上げます。

この件につきましては、石山 実 議員が市役所職員に対してストーカー行為及び不当要求行為等に該当するような不適切な言動があったとして、市長から議会に対して、事実確認と議会としての厳正な対応を求める申入れがされておりました。このことから、市議会では調査特別委員会を設置し、本格的な調査を開始しようとしていた矢先の逮捕でした。調査特別委員会では、今後の調査についても慎重に進めていきます。

市議会といたしましては、市民に選ばれた議員には高い倫理義務が課せられていることを、全議員が再認識した上で、市民の皆様のご信頼を取り戻すため議員一同全力で取り組んでまいります。

## 議/会/日/誌

10月から12月までの議会活動を紹介します。

### 10月

- 1日 茨城県西市議会議長会臨時会（笠間市）
- 3日 常総衛生組合議会定例会
- 8日 教育民生常任委員会視察研修  
～9日（和歌山県橋本市）
- 15日 愛知県北名古屋市議会行政視察受け入れ
- 16日 総務常任委員会視察研修（新潟県三条市）  
～17日
- 22日 茨城県市議会議長会定例会（水戸市）  
茨城西南地方広域市町村圏事務組合議会定例会
- 28日 産業建設常任委員会視察研修  
～29日（兵庫県淡路市）

- 5日 茨城県西市議会議長会定例会及び  
～6日 視察研修（神奈川県茅ヶ崎市）
- 11日 議会運営委員会視察研修（福島県伊達市）
- 14日 茨城県市議会議長会第1回議員研修会  
（土浦市）
- 26日 議会運営委員会  
全員協議会
- 28日 清水丘診療所事務組合議会臨時会

### 11月

- 4日 さしま環境管理事務組合議会定例会  
議会だより編集特別委員会

### 12月

- 3日 全員協議会  
12月定例会議（第13回会議）〔初日〕
- 4日 総務常任委員会 教育民生常任委員会
- 9日 12月定例会議（第14回会議）〔一般質問〕
- 11日 12月定例会議（第15回会議）〔最終日〕
- 17日 群馬県大泉町議会行政視察受け入れ

## 編集後記

節分、立春も過ぎて暦の上では春になりますが、まだ寒い日が続いております。

市民の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、1月31日には首都圏中央連絡自動車道坂東パーキングエリア外回りが完成し、これにより、内外の両側が利用できるようになりました。

又、内回りでは、昨年10月1日より売店南側広場の一部が拡張され、今後、複合施設及び遊戯施設を官民連携により整備を予定しており、坂東市の産業の発展の為に、大いに期待しているところです。

市民の代表機関である議会も、益々活発な議論で坂東市の為に努力してまいります。



議会だより編集特別委員会  
委員 青木 和之